

kocv news

http://kocv.jp e-mail:info@kocv.jp

今回初めてKOCVニュースを担当しました、小野です。私は20年度3次隊で、帰国してもうすぐ1年半になります。任国を思い出すこともだんだんと減ってきてしまいましたが、ふとした瞬間に蘇ってくることがあります。一番多いのは、音楽プレイヤーで任国の曲がかかった時。聞いていた当時の気持ちを思い出します…。最近あったのは、電車に乗った時。車内の熱気と臭いで、任地のバスが蘇ってきてしまいました。皆さんは、どんな時に任国を思い出すのでしょうか？

小野 栄子 (H20-3 / インドネシア / 環境教育)

ハイテクノロジー見学ツアー

小島海治 (H10-1/トンガ/音楽)

1月8日(日)に恒例のバスツアーを実施しました。

今年は、相模原市立博物館、JAXA相模原キャンパスとサントリービール工場の見学を行いました。

参加者は、神奈川県国際研修センターに宿泊中の神奈川県海外技術研修員と留学生(大学生、大学院生)、研修センターの職員、及びその家族。KOCVメンバー、及びその家族。それに、私の勤務校である神奈川県立有馬高校在学中の在県外国人生徒も加わり、約40名の方々が参加しました。大型バス1台を今年もチャーターし、横浜を出発し、二俣川にある国際研修センターを経由し、相模原に向かい、午前中は相模原市立博物館、隣接しているJAXA相模原キャンパスを見学しました。両方とも約30分の訪問でしたが、時間的に倍の時間を使っても足りないくらいの内容のある見学地でありました。

今年は、予約できるレストランが確保できなかったため、仕出し弁当を積み込み、バスの中で昼食をとりました。午後は、ここ数年続いているビール工場見学として府中サントリービール工場を訪問し、見学しました。生ビールを試飲し喜んだのは私を始め、ほとんどの参加者だったと思います。お子さんたちには、ジュースの試飲とお菓子がもらえました。これで、生麦の麒麟ビール工場、足柄のアサヒビール工場、府中のサントリービール工場と、3つのビール工場を制覇?したことになります。

来年もたくさんの参加者をお待ちします。



JICAボランティア壮行会・帰国ボランティア歓迎会及び表敬訪問

畦地崇敬(H14-1/ブルキナファソ/植林)

神奈川県では県庁表敬が年6回(出発4回、帰国2回)行われており、私もOB会長として毎回出席させていただいておりますが、黒岩知事から『かながわ国際ファンクラブ』についてお話がありました。これは簡単に言うと、「神奈川県ファン、これを世界中にどんどん広げていって、それをネットワーク化していく」ということのように、神奈川県内の留学生に対して神奈川県ファンになってもらうようなことをどんどん行うとのお話でした(詳細は県HPをご覧ください)。

また、表敬後に行っている壮行会と歓迎会については下記のとおりです(表敬の様子はJICA横浜HPのトピックス欄をご覧ください)。

◇23年度下期帰国ボランティア歓迎会(2月1日): 帰国隊員4名、OV2名

◇23年度4次隊壮行会(3月19日): 出発隊員9名、JICA横浜所長、OV等3名参加。

また、次は24年度1次隊壮行会を2012年6月下旬に行う予定です。日程が決まりましたらまた改めてMLにてご連絡いたします。

壮行会に参加された東さんより、メールが届きました。

JOCV23-4の東美聡です。お世話になっております。壮行会では、楽しいお話や貴重なお話をどうも有難うございました。チュニジアへつき、少し時間がきたので、壮行会の際の写真を送付させていただきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



よこはま国際フォーラム2012

光田大輔(H11-3/ブータン/コンピューター)
中西雅美(H6-3/パナマ/プログラムオフィサー)

2月11日(土)、12日(日)の2日間にわたり、国際協力・交流のセミナー・ワークショップ全47講座がJICA横浜で行われ、参加者のべ1,319名もの大盛況の中、KOCVは、1日目に「神奈川県水源林での森づくりについて」畦地さんより報告し、2日目のセミナーは光田が担当しました。なお、青年海外協力隊・体験談コーナーも別置して、17名もの一般の方から応募相談などがあり、個別に対応しました。若い人たちの意識が高く、熱気を感じてきました。以下は主に2日目の報告です。

2日目の講座のテーマは、「東日本大震災支援活動の報告(協力隊OB・OGでできること)」でした。参加者は凡そ20人、高校生から年配の方まで幅広い年齢層の方が聴きにられました。2011年5月3日～5日、仙台市で行った医療ボランティアに関する報告を行いました。支援内容の詳細は前回のKOCVニュースに掲載しましたので、ここでは割愛します。

質疑応答では、ボランティア先の選定理由などについて質問がありました。今回の活動場所は六郷中学校の体育館(避難所)でしたが、私が個人的に行っているボランティア活動の仲間が仙台に居て、その方が現地と調整を行い、六郷中学校に決まりました。

講座が終わると個人的に私の所に質問に来る方がいました。獣医師の方で、私が行った施術に興味を持たれ、動物への適応について色々質問をされました。余談ですが、動物への鍼灸治療は、好成绩をおさめた症例が沢山あります。

講座の後は、主催団体であるYNNによるインタビューがありました。講座での発表内容や、KOCVの今後の活動について聞かれました。詳細は、インタビューの様子がYouTubeにアップされていますので、そちらをご覧ください。(YouTubeのサイトで「神奈川県OB会」と検索すると、インタビューの映像が表示されます。)



JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2011表彰式

畦地崇敬(H14-1/ブルキナファソ/植林)

エッセイコンテストの表彰式が、2月25日にJICA横浜で行われ、中学生の部(個人賞)6名、高校生の部(個人賞)2名、学校賞5校について表彰されました(神奈川県内からは、中学生の部1,939点、高校生の部186点の応募があり、中学生の部で9名、高校生の部で2名が受賞、学校賞を10校が受賞)。

今回の表彰者の内、中学生の部3名と高校生の部1名を『青年海外協力隊神奈川県OB会会長賞』として表彰させていただきました。

また、今回の表彰式の後、「世界の中で私たちができること」と題し、森昭子OG(ガーナ/村落開発普及員)と森田麻由OG(ガーナ/青少年活動)のお二人が隊員活動の体験談を話しました。お二人の体験談は、部屋の中をガーナの布や絵で飾り、室温まで上げてまるでガーナに来たかのような雰囲気を作り、隊員活動を音と映像を交えた演劇のスタイルで紹介するユニークなもので、参加した受賞者の皆さん

からも大変好評でした。

プログラムの最後には受賞者とそのご家族、学校関係者の皆さんとの懇親会が行われました。実際に中学生の部一次審査で審査させていただいた方と直接会い、お話を聞く機会を持ってとても嬉しかったです。私からは将来ぜひJICAボランティアに応募してほしいと皆さんにお伝えしました。

エッセイコンテスト2012 審査員の募集

「JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2012」について、例年どおりJOCAが運営を行うこととなり、今年度のテーマは「これからの日本、これからの世界—私たちができること—」に決定したそうです。今年度も神奈川県中学生の部の一次審査をKOCVが行うことになり、この一次審査にご協力いただける方を募集いたします。

一次審査のスケジュールはおおよ次のとおりです。

- ①9月下旬～10月初旬: 各審査員へのエッセイの発送→各審査員自宅にて各自1～2作品選出
- ②10月中旬: 一次審査員による読み合わせ作業→各審査員が選出した作品を持ち寄り、審査員全員による読み合わせ。最終的に10作品程度に絞り込む(選出作品数は応募数により変わります)。

例年ですと、神奈川の場合、中学生の部への応募が2000作品程度ですので、審査員一人当たり100作品を審査するとして、20名程度審査員が必要になります。

審査員はJICAボランティア経験の有無を問いません。興味のある方はぜひお申し込みください。

応募先メールアドレス: info@kocv.jp

やまと国際交流フェスティバル

中西雅美(H6-3/パナマ/プログラムオフィサー)

3月18日(日)の当日は生憎の天候で、何とか雨はやんだものの、午後からは小雨が降りました。そんな中でも、スタッフとして10人集まっていたが、またメーリングリストを見て、遊びに来てくださった方もいました。OB会のブースは、大和駅前のフリーマーケットエリア内にあり、フェアトレード商品の販売でした。

ががのたわし(岩手県陸前高田市の仮設に住む)がが(おあちゃん)たちが作ったアクリル毛糸たわし)や、フィリピンの小麦粉袋を再利用したカバン、OB/OGが隊員時代に絆を作ったセネガルの女性たちが縫製したかばんを販売し、3万円近く売り上げました。同時に行った応募相談は、シニア世代のほうに関心が高かったです。

今回は3団体からの出品でしたが、フェアトレードをしているよという方がいらっしやいましたら、イベント毎にブースの隅でよければ、委託販売させていただきますので、中西までご相談ください。



森づくり・ワーキンググループ(WG)総括

小島海治 (H10-1/トンガ/音楽)

3月31日(土)に今年度5回目になる最後の活動が行われました。残念ながら、雨に降られ整備等の活動はできませんでしたが、小降りになった時点で植林地の様子を見に行きました。残った時間を通じて休憩棟で今年度のWGの総括を話し合いました。以下、皆さんから出された主な意見、感想等を箇条書きします。

- ・間伐するなら、うっそうとしている箇所をやりたい。
- ・尾根の方に植林できる箇所があるらしい。
- ・オータムキャンプは良かった。一番気合が入っている。今年度はお祭り重なってしまったのが残念。
- ・植林サイトのゴミを廃棄したい。→県の職員に相談する。
- ・植林サイトの鹿害害を食い止めたい。→フェンスの修理等
- ・WGは楽しい。JOCAとKOCVとのつながりがあってよい。
- ・地域との交流もしていきたい。
- ・オータムキャンプの食事係が少なくて大変だった。
- ・参加者を増やしたい。→人を集める工夫が必要
- ・会社の仕事ではないから目標の達成を考えるのは難しい。
- ・みんなで楽しく森林保全ができればいい。
- ・もうちょっと広がりのある活動にしていきたい。

今後(24年度以降)

- ・林業家に植林サイト紹介ツアーをやらせてもらうのはどうか。
- ・林業家のレクチャーを午後の時間にしたらどうか。
- ・地域とのつながりを持つ。(蛍の夕べ、水源林の集い、桜祭り等、地域のイベントとコラボできないか。)
- ・あーすぶらざ、神奈川県海外技術研修員との交流はできないか。
- ・岩手県との交流。福寄さんが遠野に行くことになったきっかけにお互いの交流ができないか。

以上主な意見、感想だけでもこれだけあります。その日は毎回泊まっている、しおや旅館に泊まり、翌日はみんなで鍋割山登山をしました。山頂で名物の鍋焼きうどんを食べ、下山後は、秦野の温泉に入って汗を流しました。WGは10年計画で行っているJOCAがKOCVに委託した特別事業であり、今年度で後半の6年目に入ります。今年度もまた密度の濃い、みんなが楽しめる有意義な活動を行っていきたく願っています。



広尾で行われた最後の協力隊まつり

高野忠裕(H7-1/ラオス/建築見積)

4月21/22日の土日に協力隊まつりが行われました。広尾で行われる最後のまつりということもあり、両日とも大変な賑わいでした。このまつりには第1回から参加していますが過去最高だったのではないかと思います。

KOCVは1階でパタコーンとカボチャ餅及びシンハービール、333(バーバーバー)ビールの販売を行いました。食べ物や飲み物は完売しましたが、1日目は23,400円、2日目は20,950円の売上でした。また、慰霊碑前で行われた丸太切り及びバードコール製作のワークショップも盛況で、特に二日目は雨が降り出したこともありテントの中で行ったことが逆に目立ち、子供達の来店が増え対応に追われました。

今回は通常の出店とは別に東北の復興支援に対する協力も行われました。岩手県や静岡県等のOB会で被災地からの商品の販売が行われましたが、神奈川OGの上坂さん、中西さんを中心としたOV有志が入り口から入ってすぐの展示コーナーで陸前高田の仮設住宅で被災されたおかあさん達が作った「ががのたわし」を販売しました。二日間で112個の売上がありました。同じく、二日目には青森、岩手、福島のOV会による地域に根ざした支援活動の報告会が行われました。私が実行委員ということもあり、慣れない進行ではありましたが、司会として参加しました。

東北のOV会では以前から阪神や中越での経験に基づいた被災地支援のあり方が議論されてきましたが、地理やコミュニティを基に気候なども熟知した地元の住人が、被災地支援に当たっては主導的な役割を担うべきとの思想をまさに実践している、大変興味深い事例の報告会でした。我々が生

活している地域もいつ天災に見舞われてもおかしくない状況です。今後東北のOV会が実践してきた事例の報告を聞く機会を持ち、地域の安全保障を考えるきっかけを作りたい。そんなことを考えさせられたすばらしい報告会でした。



社会還元スキルアップセミナー

畦地崇敬(H14-1/ブルキナファソ/植林)

年2回、JICA横浜と共催させていただいている社会還元スキルアップセミナーですが、2月18日に予定していたところ、参加希望者が少なかつたため、今回は中止となりました。開催時期、内容も含めて次回どうするかJICA横浜とも協議していきたいと思っております。

2012年 関東ブロック会議 スタッフ募集

前回のKOCVニュースでも触れましたが、2012年の関東ブロック会議は11年ぶりに神奈川県で行われます。これは、関東圏のOB会関係者が集まり、様々な問題について意見交換を行うことを目的として開催されている会議で、例年各都県の持ち回りで開催されており、本年はKOCVが担当となっております。

下記の通り日程が決まりましたので皆さまにお知らせするとともに、開催日当日、会議運営をお手伝いいただけるスタッフの募集をしております。本件についてこれから詳細を詰めていきますので、改めてMLでお知らせする予定です。

- ◆日時：2012年11月17日(土)、18日(日) 終日
- ◆場所：マホロバ・マイズ三浦(予定)

《新着任》国際協力推進員

みなさまこんにちは。
2012年1月18日より神奈川県国際協力推進員に就任しました宮本寿美(みやもと すみ)と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。



青年海外協力隊では、中米のエルサルバドル共和国で村落開発普及員として活動してきました。現在は、神奈川県国際協力推進員として、主に、自治体、NGO/NPO団体、国際機関、教育機関等が行う国際協力事業との連携促進や広報啓発活動を行っています。

JICA横浜では、様々な記念行事や国際協力イベントを開催する予定です。イベントなどで皆様とお会いし、お話できることを楽しみにしています。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

《新着任》市民参加協力調整員

はじめまして この度、市民参加協力調整員としてJICA横浜に着任しました田中浩平と申します。

JICA横浜の開発教育支援事業(訪問プログラム、出前講座、エッセイコンテスト、開発教育指導者セミナー、教師海外研修等)の担当となります。KOCVの皆さまには、これから大変お世話になると存じますが、今後ともご指導、ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

JICA横浜 市民参加協力調整員 田中 浩平

寄付金納入者リスト

H23年12月31日～H24年3月30日(敬称は省かせていただきます)

ご協力ありがとうございます。収めていただきました寄付金は有効に使わせていただきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

- | | | | | |
|------|------|-------|------|--------|
| 木戸伸英 | 藤井 敏 | 藤井澄子 | 五島聖志 | 霜村 忠 |
| 金子洋三 | 植木克典 | 植木麻代 | 若林弥生 | 永田計士 |
| 永田朱美 | 浅川正雄 | 本田維宏 | 三浦喜勝 | 石渡善雄 |
| 青木 尚 | 森丘貴宏 | 武下佛治 | 千葉美奈 | マエダナオミ |
| 鈴木宏尚 | 長瀬 修 | 前田裕司 | 岡村義雄 | 岡部 健 |
| 須賀元泰 | 辻 征史 | 深沢容子 | 長谷川真 | 八巻康一 |
| 岩田賢一 | 山口 猛 | 上坂とよ子 | 小島海治 | 入部和也 |
| 徳永達巳 | 八賀伸治 | 佐々木幹夫 | 田中秀幸 | 柳川千春 |
| 桜井 健 | 原 寛史 | 佐藤義勝 | | |

青年海外協力隊神奈川県OB会(KOCV) 通常総会 2012のご案内

日時・場所 平成24年6月23日(土) 受付 13:15～
JICA 横浜国際センター1階会議室

第一部 青年海外協力隊神奈川県OB会通常総会
13:30～14:45

第二部 特別講演会「キタ～!! 神奈川に大地震!?!
そのときあなたは・・・」
15:00～16:45

懇親会 17:30～

出欠はメールにて。info@kocv.jp

特別講演会のご案内

「キタ～!! 神奈川に大地震!?! そのときあなたは地域社会に何をしますか?」 ～ 3・11 東日本大震災にて協力隊OB/OG達が行った被災地支援活動から学ぶ、わがまちのつくりかた～

JICAによる震災支援の活動とKOCV復興支援ボランティア達

政府の地震調査委員会は今年の1月11日、国内の主な地震の発生確率を更新し、東海地震は30年以内の発生確率が1ポイント増の88%に上昇しました。東海地震は南海地震や東南海地震との連動も考えられ、直下型による地震被害ばかりでなく過去の文献から津波の到達記録を調べるなどして、神奈川県は従来の被害想定を大幅に見直しています。

3・11 東日本大震災においては、JOCAや東北のOB会を含めた協力隊のOB/OG達が震災当初から支援活動に奔走し、1年を経過した今でも、ある一定の役割を担っています。

今回の特別講演はJOCAの支援活動の中心的な役割を担った込谷晃 特別業務室長(10-2 フィジー土木施工)を進行役に、実際に活動を行っていたJOCAやKOCVを含めた協力隊のOB/OG達が、未曾有の大災害である震災の前後やその支援活動をタイムラインに沿って紹介します。また、実体験をふりかえることによりまもなく来るであろう災害に対して、どのように心構えればよいか、今回の経験を日頃のOB会活動にどのように反映させればよいか、危機管理的な側面から協力隊経験を地域社会に還元するためには何が必要かを共有することを目的とします。なお、JOCAでは今後も被災地に対しては長期的な支援活動を行う予定です。国内協力員などの要請もあり併せてその配属先や要請内容も紹介します。

- ※こんな事に3点以上関心がある方にお勧めです。
- 東日本大震災でのJOCAや東北のOB会の支援活動事例を知りたい方。
- 被災地で支援活動を行っていた方。
- これから、被災地で復興支援を行いたい方(国内協力員、NGO、ボランティア含む)
- 今回の全体的な被災地支援のあり方に不満や疑問のある方。
- 自分たちが住んでいる地域が好きの方。
- 今後、関東地方に大地震が来ると思っている方。
- 多文化共生や外国籍県民の抱えている問題に関心のある方。

